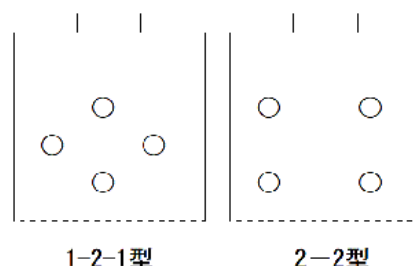
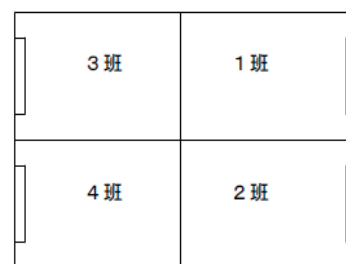


実技17「リーグ戦1-③」

前は、コート縮めたことと、ゲームの間を空けたことで、パスも繋がるようになり、白熱したゲームになりました。今回の目標も前回と同じように、4人の攻めを確立することです。ボールを持ったら、後の3人はどう動くのかを共通理解しておく。3つのグループが1-2-1型、3班が2-2型なので、後列の1人がボールを誰に出すのかを決め、その動きを決めておきます。それがないと、パス出しに時間を要して、すぐにDFにパスコースを塞がれてしまうことになります。1次リーグ戦最後の試合となるので、精一杯のプレイに期待します。



練習時



- ・練習時はフットサルのゴールを使用。それぞれの場所で練習を行う。
- ・ゲームの前に、必ず4人の攻めの形を再確認すること。

試合時



- ・アナウンス、心電図係がゲームを記録。
- ・試合では、サッカーゴールを使用。

※心電図の記入者は、ゲームの流れを文章化する（特に、得点場面を事実に基づき記入。また、

- (1) 前回のゲームの振り返り（心電図から）
 - ・良かった点・反省点⇒4人の攻撃を見直す。
 - (よりよいものにする)
 - ・再度4人の攻撃を確かめる。グループノートに記入。

- (2) 攻撃のシステム練習
 - <自分たちの攻撃の形（型）>
 - ①どんなフォーメーションで攻めるのか？（自分たちの型）
 - ②4人の動きについて共通理解をする。
 - (パスをもらったらどう動くか？ボール保持者以外の動きは？)
 - 前回と比べて改善点はないのか？基本的な動きの共通理解を図る。

- (3) ゲーム（リーグ戦3節）
 - リーグ戦の始まりです。5分間の試合を2試合行います。前半、後半と同じチームとの対戦を2試合行います。試合ごとに、メンバーチェンジとポジションチェンジを行います。（リザーブの選手、GKは、後半のゲームでは、フィールドプレーヤーとしてゲームに出ること。）

<本日の試合> 同じチームと2回ゲームを行う。

	1 試合目・3 試合目	2 試合目・4 試合目
対戦	2班 対 3班	1班 対 4班
審判・記録・線審	(1班) (4班)	(2班) (3班)

ゲームの勝因なども分かれば書いておく。

- (4) ゲームの集計・記録（ミーティングルーム）
 - ・審判のチームが記録した心電図から、全触球数（相手も）支配率、攻撃数、攻撃成功数、攻撃成功率、シュート数、シュート成功数、シュート成功率、アシスト数を出します。（心電図の記録をノートに転記）※考察は次回に行う。
 - ・ゲームの様子について、他のグループが書いたものをグループノートに転記する。

- (5) 授業の振り返り